

## 5. 今月のトピックス「チャノコカクモンハマキ、チャハマキについて」

### 1) どんな虫

チャの重要害虫のひとつに葉を綴って食害するハマキムシ類がいます。ハマキムシ類にはチャノコカクモンハマキ、チャハマキの 2 種類があり、三重県を含む西日本ではチャノコカクモンハマキが多く、東日本ではチャハマキが多くいます。チャノコカクモンハマキは成虫が吊鐘型をした蛾で、前翅の長さが 7~9mm、翅に黒褐色の紋があり、この模様は雄の方が明瞭です(写真 1)。終齢幼虫の体長は約 18mm、頭部は淡褐色です。チャハマキは成幼虫ともにチャノコカクモンハマキより大型です。成虫の前翅の長さは 10~15mm、翅の模様は不明瞭です(写真 2)。終齢幼虫の体長は 30mm に達するものもあり、頭部が黒褐色であるところがチャノコカクモンハマキと違います。

### 2) 生態と被害

両種とも幼虫で越冬します。チャノコカクモンハマキの越冬幼虫は 4 月~5 月に羽化し、年間 4~5 世代発生します(図 1)。孵化幼虫は新芽や若葉を食害します。成長すると 1 枚の葉を縦に綴ったり(写真 1)、2~3 枚の葉を綴り合わせて食害しますが、発生初期は被害が目立たないので注意が必要です。チャハマキの越冬世代は 4 月から羽化し、年間 4 世代発生しますが、各世代のピークははっきりしません(図 1)。幼虫は成熟した葉を好み、数枚の葉を綴り合わせて食害します(写真 2)。

### 3) 防除対策

孵化~2 齢幼虫期が防除適期で、これはフェロモントラップ誘殺数のピークを過ぎて 10~14 日後ごろに当たります。病害虫防除所ホームページに発生消長のグラフを掲載しているので、参考にしてください。一番茶期は越冬世代の羽化時期のため防除の必要ありません。一番茶期摘採後、三

番茶硬化期頃の防除が重要です。

脱皮阻害剤、交信攪乱剤に対する抵抗性出現が報告されており、薬剤抵抗性が発達しないように同一薬剤の連用をさけるようにしましょう。

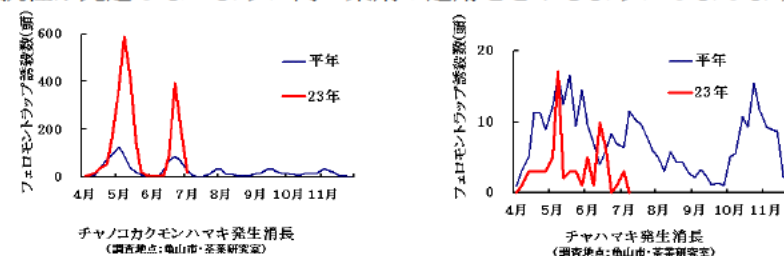


図 1. チャノコカクモンハマキとチャハマキの発生消長

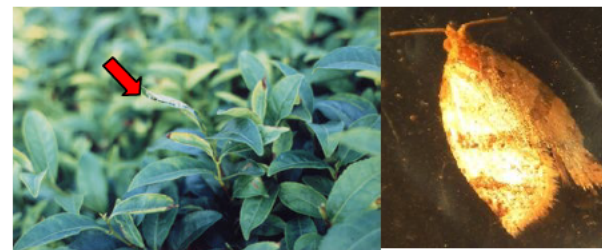


写真 1. チャノコカクモンハマキ幼虫による被害状況(左、松阪地域農業改良普及センター原図)と雄成虫(右)



写真 2. チャハマキ幼虫による被害状況(左、松阪地域農業改良普及センター原図)と雄成虫(右、農業研究所原図)。